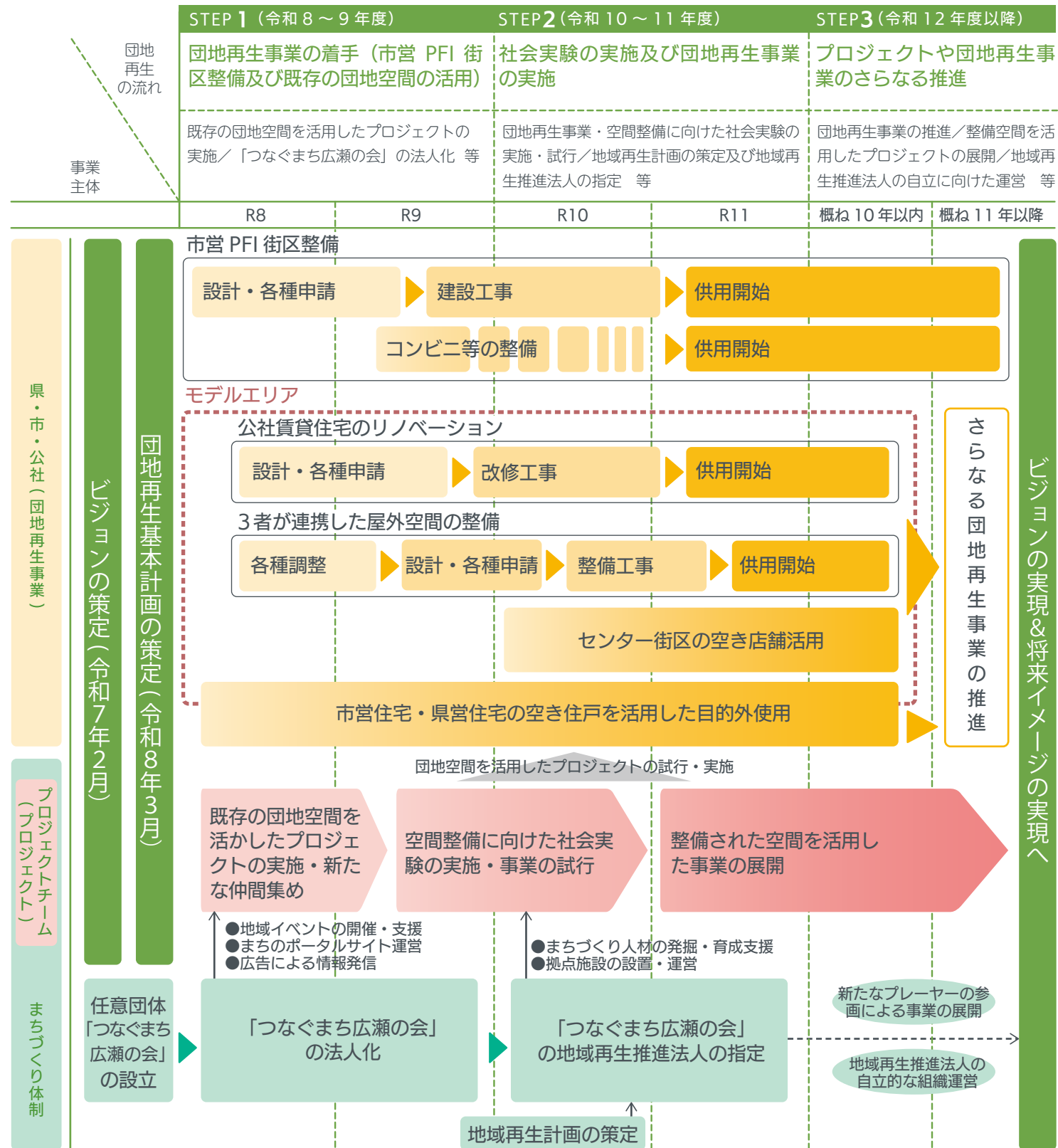


事業スケジュールイメージ

団地再生基本計画の策定以降は、3者が連携した団地再生事業に着手していくとともに、以下の3段階による取り組みを進めながら、ビジョン及び将来イメージの実現を目指します。



広瀬団地再生基本計画 (令和8年3月)

群馬県

県土整備部 住宅政策課 住宅政策係
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1-1
TEL 027-223-1111

前橋市

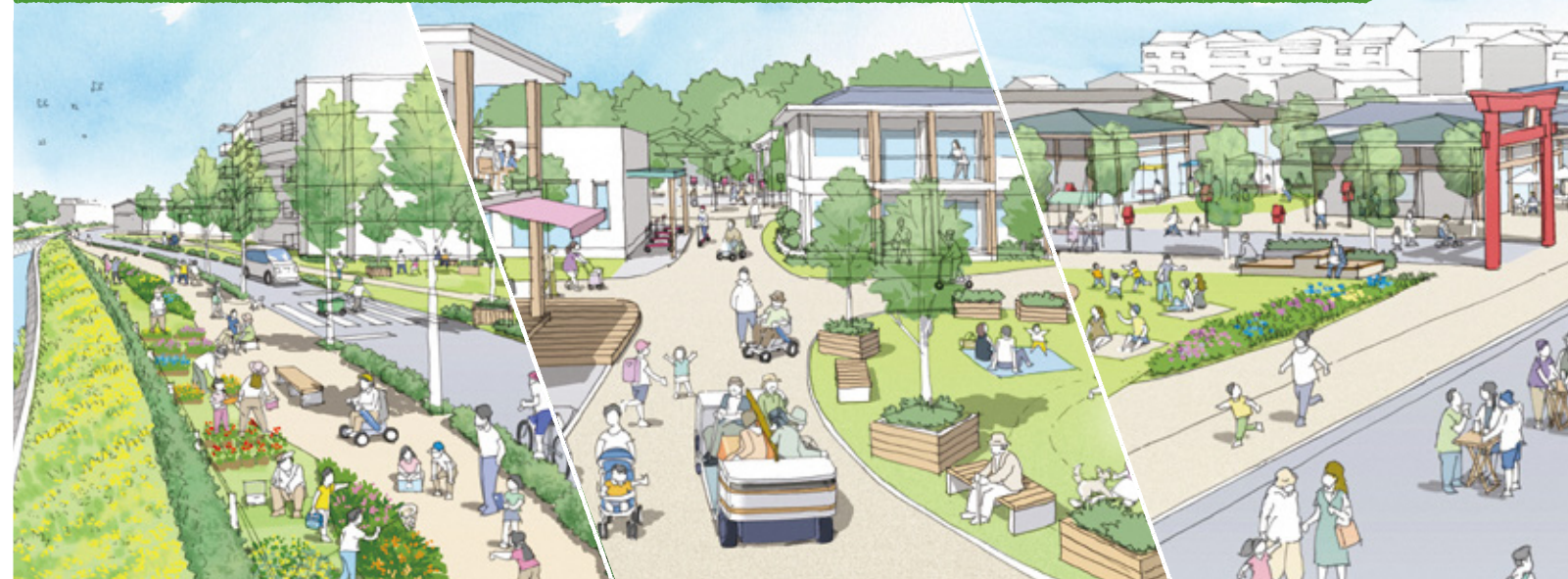
都市計画部 建築住宅課 計画整備係
〒371-8601 群馬県前橋市大手町2丁目12-1
TEL 027-224-1111

群馬県住宅供給公社

事業部事業推進課 計画係
〒371-0025 群馬県前橋市紅雲町1丁目7-12
TEL 027-224-1881

概要版

広瀬団地再生基本計画



広瀬団地再生基本計画とは

「広瀬団地再生ビジョン」の実現に向け、群馬県・前橋市・群馬県住宅供給公社（以下、3者）とまちづくり関係者（住民や民間事業者等）が連携して、具体的な取り組みの方針や各者の役割を共有するために、「広瀬団地再生基本計画」を策定しました。策定にあたっては、3者にて今後30年程度の団地再生イメージを描きながら、プラットフォームにて直近10年程度の具体的な取り組みアイデアを議論し、とりまとめました。

広瀬団地再生プラットフォーム

3者とまちづくり関係者で構成され、団地再生に係る情報共有や意見交換等を行う場

- 住民代表（自治会長）
- LIFORT（まちづくり組織）
- 前橋工科大学学生
- 公募メンバー（住民＋団地内外の民間事業者等）
- 県、市、公社

つなぐまち広瀬の会

行政と住民、住民同士をつなぐ協働の場で、地域のやりたいを支え、広瀬団地再生ビジョンを実行する実働組織

- 広瀬団地再生プラットフォームメンバーの民間事業者有志、前橋工科大学



連携

広瀬団地再生基本計画

- 3者による団地再生事業やまちづくり関係者によるプロジェクトの支援等に関する計画
- ビジョンの実現に向けた具体的な取り組みの方針や各者の役割を共有
- 今後30年程度の団地再生に係る事業プログラムとそれに基づく直近10年程度の事業主体別の取り組みを検討

広瀬団地のポテンシャルと計画方針

広瀬団地再生ビジョン

広瀬団地のポテンシャル

- 居住密度の高い人口集積帯を形成
- 工業団地等の働く場所の存在
- 民営借家に住む世帯が増加している町丁がある
- 広瀬団地にも一定の入居者の循環がある
- 広瀬団地（特に市営）は子育て世帯の住まいとしての役割も果たしている
- 公社住宅等は入居者の多様性を確保するための重要な存在

ミクストライフ実現に向けた3者の取り組みの方向性

- 公営住宅入居対象の拡大
- 子育て世帯の呼び込み
- 民間事業者が整備しにくい企画型賃貸住宅等の供給
- 公民連携等によるこれまでにない住宅の供給
- 入居者の循環促進

30年程度先を見据えた団地全体の中長期的な整備方針

- 地域の個性や魅力を高め、多世代を引き付ける、立地・地域資源を活かしたゾーニングへの転換
- 地域の賑わいをつくり、生活を支え、暮らしを豊かにする広瀬通り沿道の多様な拠点形成
- 地域資源や拠点を結び、団地内を周遊できるグリーンネットワークの形成
- 次世代の交通結節点となるモビリティハブの形成

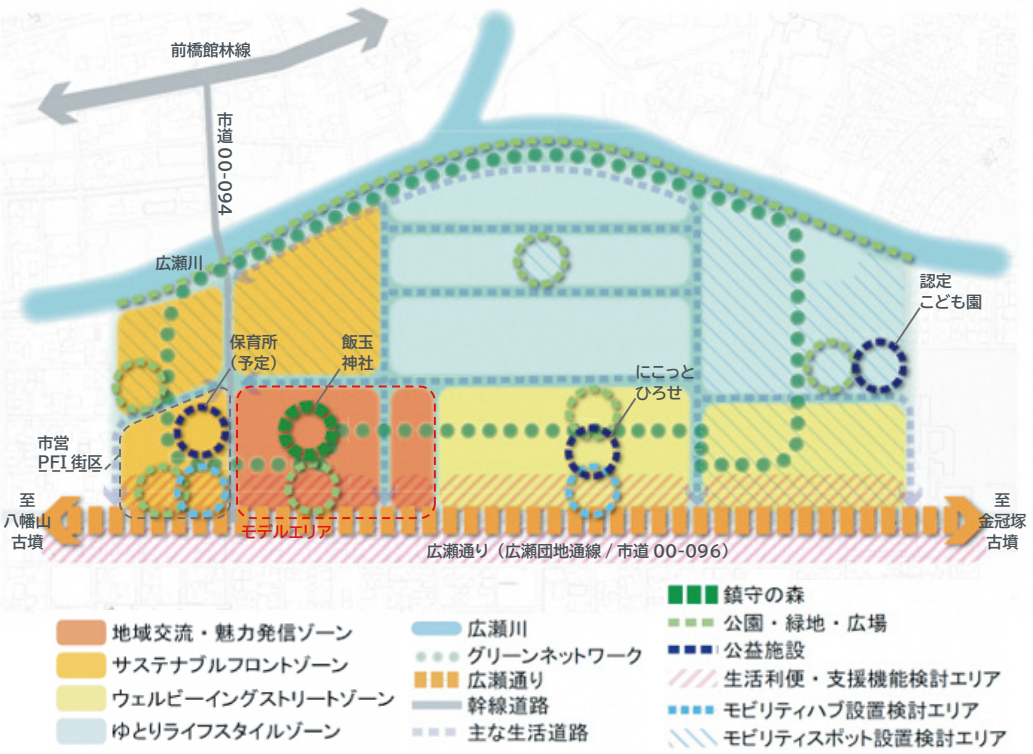
将来のゾーニングと整備方針

地域交流・魅力発信ゾーン

- ＜整備方針＞
- 神社・旧商店街など団地内外より人を呼び込みやすいポテンシャルを活かし、交流拠点として賑わい・生活支援・魅力発信を牽引するゾーンを形成
 - 神社を中心とした環境を最大限に活かし、低層による街並みを形成

サステナブルフロントゾーン

- ＜整備方針＞
- 次世代型の木造公営住宅のイメージを前面に、神社・広瀬川・広瀬通りをつなぐ一体的な環境価値を創造する、団地の顔となるゾーンを形成
 - 団地のゲートであり、生活利便性の高さを活かし、居住密度を高める中高層の街並みを形成



ゆとりライフスタイルゾーン

- ＜整備方針＞
- のどかな広瀬川の風景と既存の戸建てのまちなみを活かし、自然と共生したゆとりある暮らしを実現できるゾーンを形成
 - 広瀬川の景観や周辺の低層住宅と調和した低層を中心とした街並みを形成

ウェルビーイングストリートゾーン

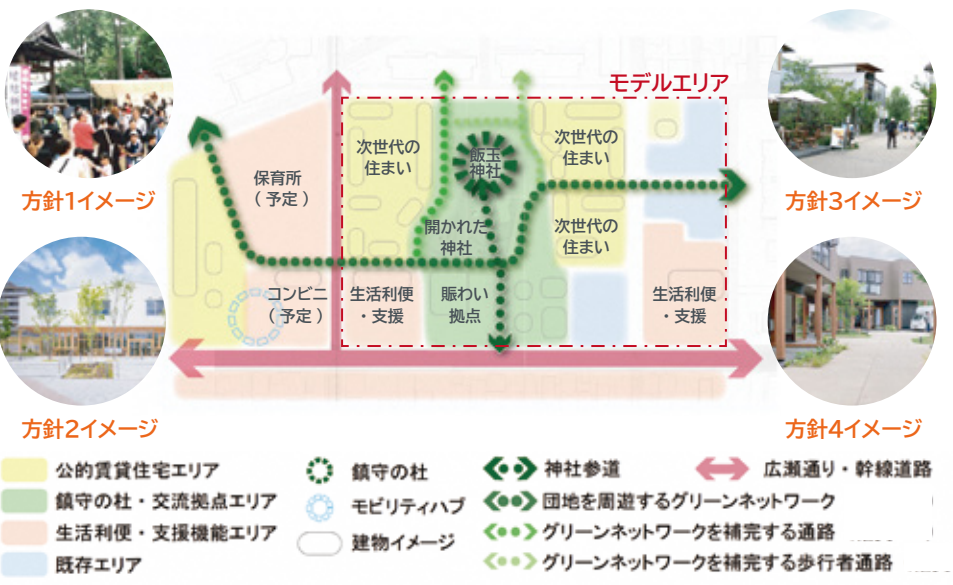
- ＜整備方針＞
- にこっとひろせや広瀬小を資源に、こどもから高齢者まで多世代が交流し、健康で歩いて楽しい新たな広瀬通り沿道づくりを軸としたゾーンを形成
 - 新たな沿道景観づくりと周辺との調和に配慮した低中高層がミックスした街並みを形成

地域交流・魅力発信ゾーンをモデルエリアに位置づけ

鎮守の杜と公的賃貸住宅の共創による地域交流拠点の形成

ー飯玉神社の鎮守の杜と地域が一体となった交流拠点を創造するとともに、公的賃貸住宅を核に次世代のライフスタイルを先導するー

方針1：地域資源の要である飯玉神社を地域の交流拠点へ再編
方針2：地域の魅力を牽引する広瀬通り沿いの賑わい拠点化
方針3：神社と周囲をつなぐグリーンネットワークの整備
方針4：次世代のライフスタイルをリードする新たな住まいの形成



将来イメージ

広瀬川沿道

広瀬川沿道に、遊歩道と植物等を育てる場を一体的に整備し、憩いの空間を形成



グリーンネットワーク

なりわい住宅や広場・公園と一体となった緑豊かな歩行空間を形成



広瀬通り

神社の参道や店舗、交流施設、広場を一体的に活用し、イベント時の賑わいを創出



※30年後のイメージであり、将来のゾーニングやイメージなどは決定されたものではありません。